

がんばろう！東北

第 32 号

東北地方環境事務所による環境問題への取組内容を紹介しています。

# みちのく環境だより

## 三陸復興国立公園指定記念式典開催

三陸沿岸に大きな被害をもたらした東日本大震災から2年2ヶ月が経過した今年5月24日、三陸地方に新たな国立公園が誕生しました。この国立公園は、岩手県久慈市から宮城県気仙沼市に渡って指定されていた陸中海岸国立公園に、青森県八戸市から階上町に至る海岸と階上岳を編入し

たものです。震災からの復興に貢献することを目指し「三陸復興国立公園」と名付けられました。

この三陸復興国立公園の指定を記念し、環境省、青森県、八戸市、階上町の共催により、記念式典等の行事が開催されました。

環境省

東北地方環境事務所

<http://tohoku.env.go.jp/>

平成 25 年 8 月 30 日



## 三陸復興国立公園指定記念式典除幕式

指定の翌日（25日）は、国立公園区域に編入された青森県階上町の階上岳と八戸市の種差天然芝生地において、公園名称標識の除幕式を執り行いました。

両会場では、地域住民や報道機関など多くの方々が見守る中、新しい国立公園の名称



◆ 関係者による除幕式（種差海岸）

## 徳丸事務所 挨拶



◆ 徳丸事務所長

皆様こんにちは。7月2日付で林野庁研究指導課から東北地方環境事務所に参りました徳丸と申します。東北での勤務は初めてですが、青森に旧友がおります関係で学生時代から年に一度はみちのく観光に来ていましたので、こちらの風土にはとても親近感があります。仕事上も十和田、八幡平、白神山地、蔵王、平泉、宮古、仙台市の荒浜など

随所に、諸々の案件で何度も来させていただきました。とりわけ一昨年、震災がれきの広域処理に携わった関係で、石巻から八戸に至る三陸沿岸を3日かけて北上し、被災状況を視察させていただいた折の記憶は未だ鮮烈です。

東北地方環境事務所は、多難な環境行政の最前線で、この地に暮らす方々、この地を訪れる方々、そして地方自治体をはじめとする多くの関係団体の皆様と共に、よく考え、たとえ小さな歩みであっても一歩一歩進めていかなければならないと思っています。そうすることで、東北の復興に、そしてこの地の自然の恵みを基盤とする懸命な発展に少しでもお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

※三陸復興国立公園の詳細な情報については、以下のアドレスよりご覧になれます。

<http://www.env.go.jp/park/sanriku/index.html>

### 三陸復興国立公園記念式典

午後からは、八戸市公民館大ホールにて記念式典を開催しました。主催者として環境省からは、石原環境大臣が出席しました。



◆ 挨拶をする石原環境大臣

主催者からの挨拶ののち、来賓祝辞、功労者の紹介、三陸復興国立公園の紹介が行われました。また、八戸市及び階上町の小学生約140名により、復興支援ソング「花は咲く」の合唱も行われ、晴れやかで感動的な式典となりました。



◆ 「花は咲く」の大合唱

### 「おんでやあんせ」三陸復興国立公園

5月25日から6月9日まで、「八戸ポータルミュージアムはっち」にて、三陸復興国立公園の魅力を多くの方々に伝えるイベントを開催しました。

25、26日の2日間は、記念式典の様子が上映されたほか、三陸各地の特産品の販売や三陸の魅力を発信するPRブースが一堂に会しました。



◆ 賑わった即売会

会場では三陸各地の特産物をモチーフにしたゆるキャラがお出迎えし、三陸の自然が育んだサバ、サケ、イカ、コンブ、フカヒレ等を使った食品が楽しめます。多くの方々にご来場いただきました。

また、開催期間中は、三陸復興国立公園の魅力を紹介するパネルや写真等の展示も行われました。工作体験では子ども達も

オリジナルキーホルダーの作成を楽しみました。



◆ ゆるキャラ



◆ 親子で工作

## 白神山地世界遺産登録20周年

青森県と秋田県にまたがる白神山地は、日本で初めてユネスコの世界遺産に登録され、平成25年12月に20年を迎えます。このことを記念して各種イベントを開催し、みなさまの会場をお待ちしております。

開催日	場所	イベント名	内容
5月1日(水) ～ 11月15日(金)	白神山地	白神山地フォトコンテスト	青森県、秋田県の誘客促進のため、両県で撮影された写真を募集しコンテストを実施します。
7月～10月	弘前市 鯉ヶ沢町 深浦町 西目屋村	白神関連施設スタンプラリー	青森県内の白神山地関連施設で連携してスタンプラリーを開催します。
10月19日(土)	能代市	白神世界遺産登録20周年記念シンポジウム	白神山地の価値を再発見するとともに、保全を前提とした観光資源としての利用のあり方や今後の地域経済との関わりについて考えます。
10月中旬 ～ 10月下旬	深浦町	秋の白神学校(仮称)	白神山地の恵みやその魅力を体験してもらうため、各種体験イベントを行います。
12月20日(金)	弘前市	白神世界遺産登録20周年記念式典・フォーラム	世界遺産登録20周年を機に、白神山地の価値や保全の意義を再確認するとともに、白神山地豊かな自然の魅力を再発信します。

このほかにも数多くのイベントを予定しております。詳しくは、東北地方環境事務所のホームページをご覧ください！

[http://tohoku.env.go.jp/to\\_2013/0430a.html](http://tohoku.env.go.jp/to_2013/0430a.html)

これらの行事のほか、26日(日)には、八戸うみねこライオンズクラブ主催による「三陸復興国立公園指定記念 第8回うみねこウォーク」が開催されるなど、地域主体でのイベントも数多く開催されています。今後、三陸復興国立公園に関連したイベントが各地で予定されています。開催予定は、三陸復興国立公園のホームページ等に掲載しています。多くの方々のみなさまのお越しをお待ちしております。



# 災害廃棄物処理の進捗状況（概要）

東日本大震災から2年が経過し、大量に発生したがれきの処理も徐々に進んでおります。ここでは、がれき処理をめぐる近況を報告いたします。

○3県沿岸市町村（岩手県、宮城県、福島県（避難区域を除く）の処理状況（平成25年7月末現在）

	災害廃棄物等推計 (万 t)	災害廃棄物				津波堆積物				仮置場 設置数
		推計量 (万 t)	処理			推計量 (万 t)	処理			
			量 (万 t)	割合 (%)	9月末 目標 (%)		量 (万 t)	割合 (%)	9月末 目標 (%)	
岩手県	527	377	261 (237)	69 (63)	78	150	66 (52)	44 (35)	56	41
宮城県	1,765	1,060	910 (857)	86 (82)	87	705	450 (408)	64 (59)	76	58
福島県	337	171	93 (86)	54 (50)	—	166	50 (43)	30 (23)	—	29
合計	2,629	1,608	1,263 (1,181)	79 (74)	—	1,021	566 (503)	55 (49)	—	128

※( )内は平成25年6月末の数値。

## 不法投棄の撲滅に向けて

ごみの不法投棄等の対策については、これまで廃棄物処理法の累次の改正を行い、対策に努めてきたところで、また、不法投棄等が発生させない環境づくりをさらに強化していくための取組みとして、5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）までを「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」と設定し、岩手県、宮城県、山形県、福島県の4



◆ パトロール出発式

県において国の関係機関、自治体、地域が連携した陸・空からのパトロール、海岸ごみ調査等の取組を行っており、引き続き不法投棄等撲滅に向けた活動を行って参ります。

7月11日に井上信治環境副大臣が岩手県を訪問しました。岩手県庁では達増知事と面会し、今後の災害廃棄物処理の支援や対策について会談しました。

その後、釜石市の片岸二次仮置場、釜石市仮設焼却炉、大船渡市の太平洋セメント（株）大船渡工場、陸前高田市の津波堆積物・農地堆積物分級施設を視察しました。



◆ 現場で説明を受ける  
井上環境副大臣

## 井上環境副大臣 岩手県を訪問

国の代行処理は、仮設処理施設の立地場所の状況や同意取得の状況に応じて、できるだけ早期の処理完了を目指します。（新地町、相馬市については平成25年度内完了予定です）。

再生利用等の加速化が必要な津波堆積物は、引き続き、資材の保管場所の確保や再生利用先との具体的な調整を図ります。

環境省は8月30日、7月末時点の災害廃棄物等処理状況を公表いたしました。3県沿岸市町村の災害廃棄物処理量は、全体の8割近くに到達し、津波堆積物処理量は5割を超えました。

3県の仮置場設置数は、処理の進捗に伴い解消しつつあり、128か所（最大時の約40%）に減少しています。

今後、岩手・宮城両県について

ては、新たに設定した平成25年度の間時点（平成25年9月末）の処理量の見込みを踏まえ、きめ細かな進捗管理を実施して着実に処理を推進する方針です。福島県については、災害廃棄物の撤去・仮置場への搬入は、平成25年度内の完了、搬入後の処理についても、平成25年度末までの処理を可能な限り進める方針です。また、災害廃棄物発生量の多い一部地域等については、平成26年度のできるだけ早期の処理完了を目標としています。

※広域処理情報サイトについては、以下のアドレスよりご覧になれます。

<http://kouikishori.env.go.jp/news/index.html#anch201308>



◆ 水落自然保護官によるイヌワシの説明

6月21日、東日本大震災で被災した宮城県南三陸町のあさひ幼稚園において、園児、保護者を対象としたイベントを開催しました。このイベントは、復興

# あさひ幼稚園で「イヌワシを学ぶ教室」を開催しました



◆ ワッシーくん登場

八木山動物公園スタッフによるモルモットとのふれあい体験では、お行儀よくモルモットを膝に抱いてやさしく撫でてくれて、モルモットの温もりを感じてもらえたと思います。鳥海イ

支援と希少野生生物の広報普及を目的に、仙台市八木山動物公園と共催したものです。特別講師に動物のものまねで有名な江戸家猫八さんをお迎えして「イヌワシを学ぶ教室」を開催しました。  
江戸家猫八さんには、鳥や虫などの鳴き声のものまねを披露して戴き、園児たちもものまねに挑戦してくれて、とてもかわいいうぐイスやカエルの鳴き声が幼稚園内に溢れました。



◆ イヌワシのぬいぐるみを触って！

ヌワシみらい館のレンジャーとマスコットのワッシーくんからは、南三陸町の町鳥に指定されている「イヌワシ」の生態について、クラスやスズメとの大きさの違い、好きな食べ物は何？、



◆ 江戸屋猫八さんのものまねにおおはしゃぎ



◆ みんな笑顔で記念撮影



◆ ふれあい体験

園児と生息数比などを実物大のぬいぐるみや写真なども使ったクイズに楽しく答えてもらいました。  
今回の学ぶ教室では、南三陸町を代表する鳥がイヌワシであることや生態系の頂点に立つイヌワシが生きてゆくために必要となる身近な郷土の自然の大切さについて、理解を深めてもらえたのではないかと思います。



**持続可能な地域づくりを担う人材育成事業**

環境と経済と社会が統合的に向上する持続可能な地域づくりには、優良な環境教育プログラムを通じた人材育成が必要不可欠です。この「持続可能な地域づくりのための担い手（人材）」を育成するための教育がESD（持続可能な開発のための教育）です。

ESDの推進等については、昨年6月に開催された「リオ+20」において更なる促進について合意されるとともに、日本政府が公表した「緑の未来」イニシアティブ」の中でも、持続可能な社会を担う人材づくり等の一層の推進を掲げているところです。

このような中、各地方環境事務所（全国7カ所）では、持続可能な地域づくりを担う人材づくりの先進地域を速やかに形成することを目的として、小中学生向けのESD環境教育プログラムを作成し、そのプログラムを学校などの教育現場等で実証する事業を実施いたします。

プログラム作成に当たっては、環境省が取りまとめたESDプログラムの視点を取り入れたモデル的な環境教育プログラム20（左図）を基に、各都道府県の地域性を踏まえるものとします。

今般、東北地方環境事務所でも、事業を実施する請負事業者が決定いたしました。

持続可能な地域づくりを担う人材育成事業に係るESDの視点を取り入れた環境教育プログラム

1	ふるさとのおいしい海を守ろう！
2	地球と人にやさしい服の選び方
3	ちがう国でも同じこと
4	ゴミ減らし大作戦 ～ゴミを減らすルールを作ろう！～
5	力を合わせて絵本作家になろう！
6	「生き物たちとの持続可能な社会を考えよう」（自然調和型社会学習プログラム）
7	命の水 一開発途上国の子どもの問題を「水」を通して学ぶ
8	一人ひとりのエコが地球の未来を救う！～エネルギーと品物の一生を考えた品物の選び方・使い方・捨て方～
9	地球温暖化を学び学校の省エネを考える「フィフティ・フィフティ」プロジェクト
10	公園、探検・発見・ほっとけん！…誰が？
11	里山ビオトープから“いのちの輝き”伝えよう
12	川は自然の宝箱
13	みどりなライフ！～みどりのカーテンで始めよう身近なエコ活動～
14	エコシステム学習プログラム
15	なたねプロジェクト 見て楽しんで！使った油はリサイクル
16	木のパワーを探ろう！～使って守る森と住まい・まちの創造人材育成～
17	環境ウォッチングで提案づくり
18	レッツゴー！エコキッズ
19	FOOD！～食を通して世界とのつながりを考える～
20	身近な自然と「水」と「生き物」のつながり

プログラム詳細は、こちらから  
<http://www.geoc.jp/esd/program/>

**環境白書を  
読む会**



7月19日、山形県山形市で県内外からのご参加をいただき「平成25年版 環境・循環型社会・生物多様性白書を読む会」を開催しました。

今年の環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書は、「真に豊かな

な社会を子供達へ震災復興の中とともに考える持続可能な未来」をテーマに掲げ、「真に豊かな社会」の構築へとつながる取組を紹介しています。東日本大震災からの復興のための除染や災害廃棄物の処理、環境保全を織り込んだグリーン復興の取組に加え、低炭素社会・自然共生社会・循環型社会の形成やグリーン経済の拡大などの取組について詳述しています。

編集担当者から白書について説明を行った後に、参加者を交えて編集に当たったの考え方や、各施策などについて質疑があり回答しました。

今後、東北6県で、地域性を加味したESD環境教育プログラムを作成し、学校などの教育現場等

で作成プログラムの実証等を行いますので、ご興味のある方は、環境対策課までお問合せ下さい。

**熱中症予防情報**

今年の夏は大変暑く、全国各地において35度C以上の猛暑日が続いており、全国の熱中症による患者数（平成25年7月1日～8月末まで）は千人を超える深刻な状況になっていきます。

環境省では、熱中症などに対する注意を促すことを目的に、

暑さ指数や熱中症への対処方法に関する知見などの熱中症関連情報を提供しています。

暑さ指数とは、「湿度、輻射熱、気温」の3つを取り入れた指標です。

まだまだ暑い日が続く見込みですので、本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力願います。

※熱中症予防情報サイトについては、以下のアドレスよりご覧になれます。

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

これから様々なイベントを開催します。

詳細は各問い合わせ先にご確認ください

期日	行事名	開催場所	行事概要	参加対象	問い合わせ先	ホームページアドレス
9/1(日)	網張の森自然観察会	岩手県岩手郡滝沢村 岩手山	初秋の網張の森を歩き動植物、昆虫の観察を行う	一般	網張ビジターセンター 019-693-3777	<a href="http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/">http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/</a>
9/8(日)	初秋の北岸ウォーク! (青森県側)	青森県十和田市	十和田湖畔で最も原始的な青ぶなから取水口付近を歩き、初秋の花を観察します。	一般	自然公園財団 十和田支部 0176-75-2368	<a href="http://www.bes.or.jp/towada/">http://www.bes.or.jp/towada/</a>
9/22(日)	秋の渡りを見よう!	鳥海山周辺	猛禽類の「秋の渡り」を観察しながら、鳥海山の自然にふれてみませんか。	一般	鳥海イヌワシ みらい館 0234-64-4681	<a href="http://www.raptor-c.com/">http://www.raptor-c.com/</a>
10/10(木)	紅葉の八幡平トレッキング!	秋田県鹿角市	八幡平の大沼・後生掛の自然研究路をトレッキングし、紅葉と火山地形を観察します。	一般	自然公園財団 十和田支部 0176-75-2368	<a href="http://www.bes.or.jp/towada/">http://www.bes.or.jp/towada/</a>
10/19 (土), 20(日)	秋田市大森山動物園と 鳥海山で見る2日間の イヌワシ観察会	・秋田市大森山動物園 ・鳥海山周辺	普段間近で観察することが難しいイヌワシを、担当飼育員からの貴重なお話を交えて観察。翌日は鳥海山に生息するイヌワシの観察をします。	一般	鳥海イヌワシ みらい館 0234-64-4681	<a href="http://www.raptor-c.com/">http://www.raptor-c.com/</a>
10/21(月)	紅葉の松見の滝ウォーク!	青森県十和田市	「日本の滝100選」の松見の滝へウォーキングします。黄瀬川沿いのかえでの紅葉も素晴らしいです。	一般	自然公園財団 十和田支部 0176-75-2368	<a href="http://www.bes.or.jp/towada/">http://www.bes.or.jp/towada/</a>
11/4(月)	紅葉の十和田湖ぐるっと! 船上観察会	青森県十和田市 秋田県小坂町	紅葉で彩られた湖を遊覧船で4時間のクルージングです。大畳石や御門石などの地形も楽しめます。	一般	自然公園財団 十和田支部 0176-75-2368	<a href="http://www.bes.or.jp/towada/">http://www.bes.or.jp/towada/</a>
11/10(日)	十和田湖外輪山自然観察会	青森県十和田市 秋田県小坂町	落葉し眺望が良くなった十和田湖外輪山の甲岳台から赤岩山を経由して休屋まで歩きます。	一般	自然公園財団 十和田支部 0176-75-2368	<a href="http://www.bes.or.jp/towada/">http://www.bes.or.jp/towada/</a>

#### 環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23

仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: [REO-TOHOKU@env.go.jp](mailto:REO-TOHOKU@env.go.jp)

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: [TOHOKU@env.go.jp](mailto:TOHOKU@env.go.jp)

(国立公園、エコツアーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)



燕島とウミネコ

ウミネコの繁殖地として知られる燕島は、間近で営巣を観察できる国内唯一の場所です。春には3万～4万羽のウミネコが島を埋め尽くします。



天然芝生地

八戸線種差海岸駅の前に、全国的にも珍しい天然芝生が海の水際まで接している景観は異国情緒がただよっています。



サップ船ツアー

小型の磯舟で海岸の奇岩・洞窟などをめぐるサップ船ツアーでは、本物の漁師さんがガイドになって、変化に富んだ三陸の海岸の魅力を紹介してくれます。



浄土ヶ浜

「さながら極楽浄土のごとし」と言われた浄土ヶ浜は松の緑、岩肌の白、海の青とコントラストに富んだ景色を堪能できます。



奇跡の一本松

7万本とも言われた高田松原の中で唯一津波に耐えた奇跡の一本松は、復興の象徴として保存され、たくさんの人に親しまれています。

### 三陸復興国立公園の諸元

- 指定年月日 平成 25 年 5 月 24 日
- 指定面積 14,635ha
- 関係市町村
  - 青森県 八戸市
  - 三戸郡 階上町
  - 岩手県 宮古市
  - 大船渡市
  - 久慈市
  - 陸前高田市
  - 釜石市
  - 上閉伊郡 大槌町
  - 下閉伊郡 山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
  - 九戸郡 野田村
  - 宮城県 気仙沼市
- あらまし

三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために平成 25 年 5 月に創設されました。南北の延長は約 220km、北部は「海のアルプス」とも賞される豪壮大断崖、南部は入り組んだ地形が優美なりアス海岸が続きます。世界的にも優れた漁港であり、多様な野生生物を見ることができま





ニッコウキスゲ

ユリ科の多年草で、40～70cm 程度の高さになります。6月～8月にかけて、全域にわたり海岸付近で群生しているところを見ることが出来ます。



ハチノヘトウヒレン

八戸市の海岸沿いの風衝草地に自生している多年草で、アザミに似た小型の花を付けます。2008年に新種として認められました。



スカシユリ

ユリ科の多年草で、20～60cm 程度になります。7月～8月にかけて海辺で見ることが出来ます。



コシジロウミツバメ

全長 20cm 程度で全体が黒褐色で上尾筒と下尾筒側部は白い。主に夏鳥として宮古市日出島、釜石市三貫島などで繁殖しています。



オオミズナギドリ

全長 50cm 程度で頭部は白色と黒褐色のごま塩模様。夏鳥として飛来し、宮古市日出島や釜石市三貫島などで繁殖しています。